

平成31年度・令和元年度 福井県中学校体育連盟  
運営方針 および 活動要項

規約第2条に基づき、本連盟の主体性を堅持しながら、将来の展望にたち、すべての中学校生徒の体育・スポーツ活動に重点をおき、次の事項に努力する。

1 スローガン 『 輝け福井っ子 はばたけ未来へ 』

2 運営方針

- (1) すべての中学生のスポーツ活動の普及振興をはかり、その研究につとめる。
- (2) 豊かな人間性の育成と豊かなスポーツライフの実現をめざす部活動の推進につとめる。
- (3) 競技力の向上につとめる。
- (4) 指導者の資質向上を図り、倫理観の高揚につとめる。
- (5) 中体連のあり方について研究と討議を重ねる。

3 活動要項

- (1) すべての中学生のスポーツ活動の普及振興をはかり、その研究につとめる。
  - スポーツ活動振興の研究実践の成果を発表検討するために、研究大会を開催する。
  - 校内スポーツ活動の振興とその具体的方策について工夫研究する。
  - 校内体育・スポーツ活動の充実をはかり、すべてのスポーツ活動を奨励する。
  - 地域スポーツとの連携・融合および各種競技団体との連携の在り方を研究する。
- (2) 本連盟と各中学校との綿密な連携のもとに、豊かな人間性の育成と豊かなスポーツライフの実現をめざす部活動を強力に推進する。
  - スポーツマンシップやフェアプレーの精神に則り、スポーツマンとしての品性やマナーの養成につとめる。
  - 部活動で得た力を、学校生活の中や将来のスポーツライフに活かすことができるよう指導する。
- (3) 競技力の向上につとめる。
  - 競技大会を開催し、選手の資質の向上を図るとともに、競技会参加数の少ない種目の普及につとめる。
  - 全国大会・ブロック大会の参加選手の競技力の向上につとめる。
- (4) 指導者の資質向上につとめる。
  - 指導者研修会を開催し、指導者の資質の向上を図るとともに、倫理観の高揚につとめる。
- (5) 中体連のあり方について研究と討議を重ねる。
  - 持続可能な運動部活動を目指し、少子化に伴う諸問題や業務改善に伴う問題について研究と討議を重ねる。
  - 特別委員会等を必要に応じて招集する。
  - 校長会等代表者の意見を聞く。

4 その他

- (1) 各種競技団体との連携を図る。
  - 必要に応じ適正な加盟金を負担して、一括加盟する。(ただし、県中体連主催大会については、学校単位・個人加盟を条件としない)
- (2) 経費について
  - 運営費は、会費、県補助金、大会参加費及びその他の収入をもってこれにあてる。
  - 会費は、各地区中体連定額負担(各市町法令外負担金)とし、6月末までに完納する。